

新型コロナウイルス感染症（変異株）への対応



厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部

Ministry of Health, Labour and Welfare

1. N501Yの変異のある変異株

- 「N501Yの変異がある変異株」は、従来株よりも、**感染しやすい可能性**がある。
- 英国で確認された変異株(VOC-202012/01)、南アフリカで確認された変異株(501Y.V2)、ブラジルで確認された変異株(501Y.V3)、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有している。
- 英国や南アフリカで確認された変異株については、**重症化しやすい可能性**も指摘されている
- 4/13時点、国内事例1,141例、空港検疫200例の計1,341例が確認されている。

2. E484Kの変異がある変異株

- 「E484Kの変異がある変異株」は、従来株よりも、**免疫やワクチンの効果を低下させる可能性** (*1) が指摘されている。
- 南アフリカで確認された変異株(501Y.V2)、ブラジルで確認された変異株(501Y.V3)、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有している。

*1 この変異のみでワクチンが無効化されるものではなく、ファイザー社のワクチンの場合は、承認審査において、モデルウィルスを用いた非臨床試験を通じ、種々の変異株にも一定の有効性が期待できるが、今後も変異を注視し、引き続き検討が必要とされている。

※ 上記のほかに、我が国では「N501Yの変異はないがE484Kの変異がある変異株」を計2,169例（国内2,164件、検疫5件）確認されている(2021/4/13時点)

都道府県別の変異株（ゲノム解析）確認数

4月13日時点
括弧内は4/7公表との比較※2

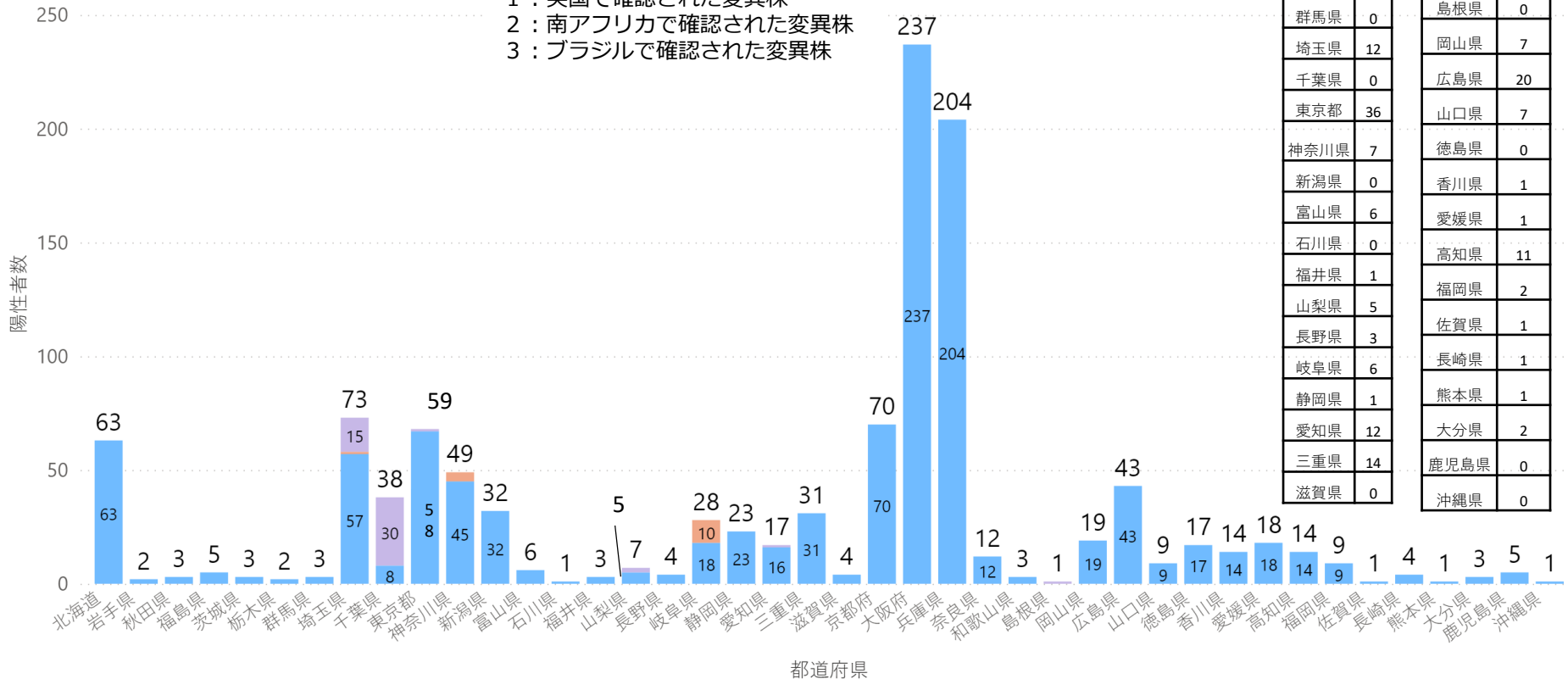
- 国内事例1,141例（+255）、検疫200例（+48）の合計1,341例（+303）を確認※1
 - 国内事例のうち、英国1,076例（+261）南アフリカ15例（+0）ブラジル50例（+0）※2
- ※42都道府県（新たに岩手県、富山県、佐賀県、熊本県）で確認。

【4/7公表からの増加数】※2

北海道	3	京都府	46
岩手県	2	大阪府	32
秋田県	1	兵庫県	7
福島県	0	奈良県	5
茨城県	2	和歌山県	0
栃木県	0	島根県	0
群馬県	0	岡山県	7
埼玉県	12	広島県	20
千葉県	0	山口県	7
東京都	36	徳島県	0
神奈川県	7	香川県	1
新潟県	0	愛媛県	1
富山県	6	高知県	11
石川県	0	福岡県	2
福井県	1	佐賀県	1
山梨県	5	長崎県	1
長野県	3	熊本県	1
岐阜県	4	大分県	2
静岡県	18	鹿児島県	0
愛知県	23	沖縄県	0
三重県	16		
滋賀県	31		
京都府	4		
大阪府	70		
兵庫県	237		
奈良県	204		
和歌山県	12		
島根県	3		
岡山県	1		
広島県	19		
山口県	43		
徳島県	9		
香川県	17		
愛媛県	14		
高知県	18		
福岡県	14		
佐賀県	9		
長崎県	1		
熊本県	4		
大分県	1		
鹿児島県	3		
沖縄県	5		
	1		

ゲノム解析結果（都道府県別） ●1 ●2 ●3

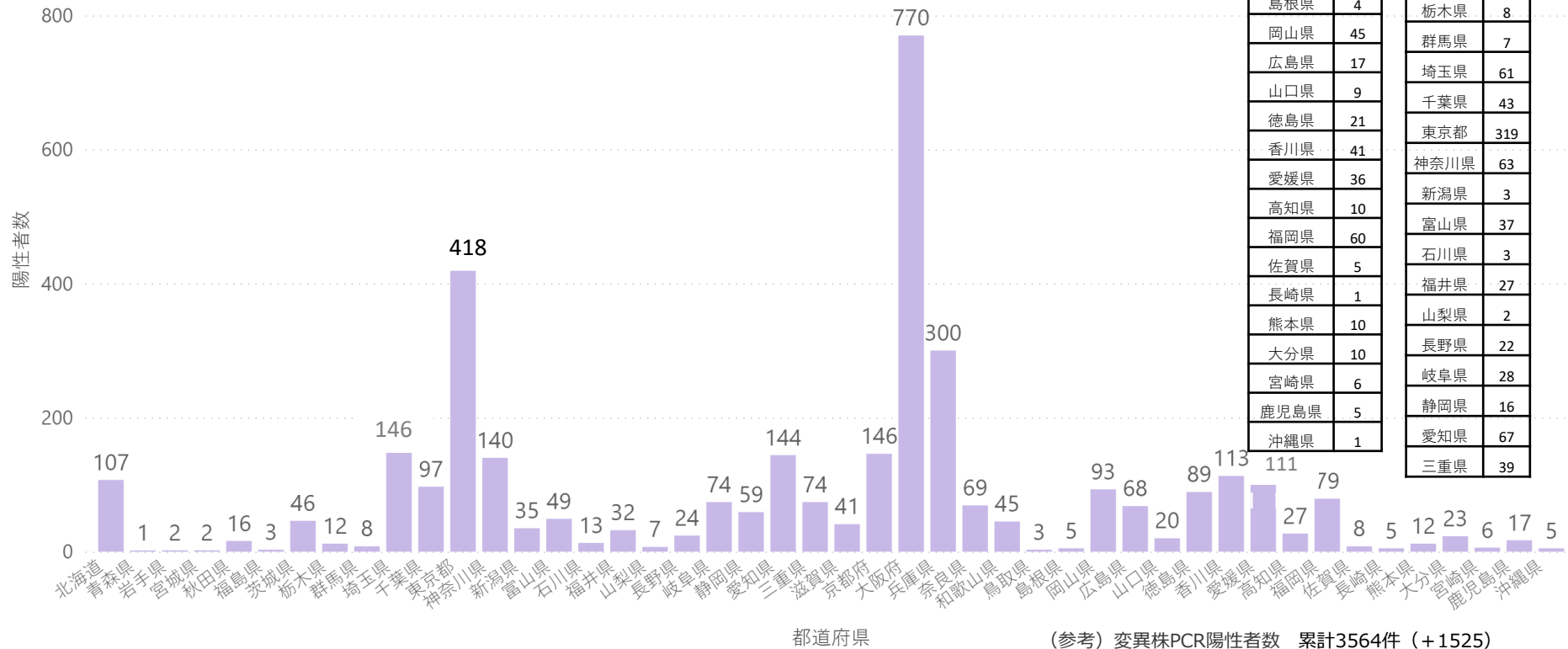
- 1：英国で確認された変異株
- 2：南アフリカで確認された変異株
- 3：ブラジルで確認された変異株



※1 国内事例は公表日前日までにHER-SYSで把握した累計を自治体へ協議した上で計上。検疫は公表日前日までに厚生労働省で把握した累計を計上。

※2 4月7日公表後にHER-SYS上で事例削除・変更等された事例があることから、4月6日時点と4月13日時点との事例数の差分につき、一致しない可能性がある。

変異株PCR陽性者数（都道府県別）



【4/7公表からの増加数】

滋賀県	37	北海道	13
京都府	76	青森県	1
大阪府	273	岩手県	2
兵庫県	28	宮城県	1
奈良県	12	秋田県	8
和歌山県	5	福島県	0
鳥取県	1	茨城県	42
島根県	4	栃木県	8
岡山県	45	群馬県	7
広島県	17	埼玉県	61
山口県	9	千葉県	43
徳島県	21	東京都	319
香川県	41	神奈川県	63
愛媛県	36	新潟県	3
高知県	10	富山県	37
福岡県	60	石川県	3
佐賀県	5	福井県	27
長崎県	1	山梨県	2
熊本県	10	長野県	22
大分県	10	岐阜県	28
宮崎県	6	静岡県	16
鹿児島県	5	愛知県	67
沖縄県	1	三重県	39

(参考) 変異株PCR陽性者数 累計3564件 (+1525)
(速報値)

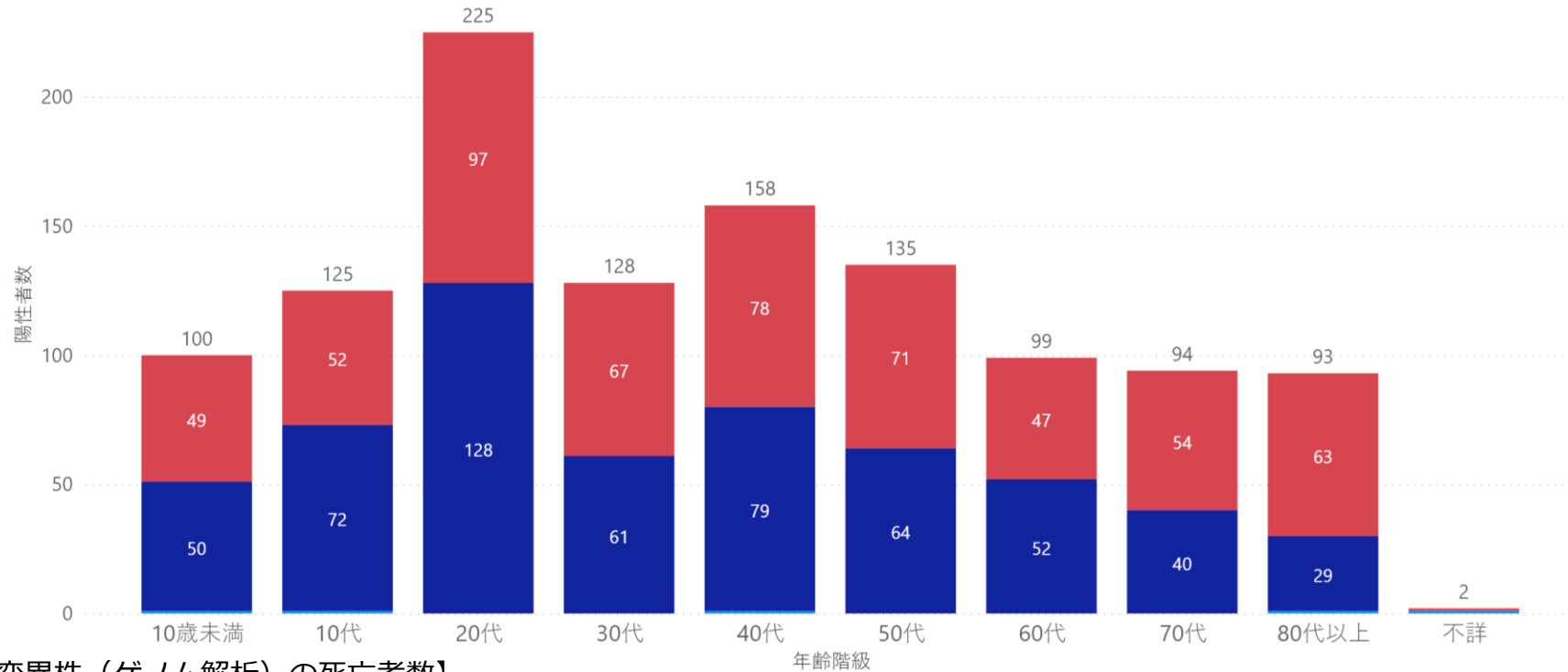
- ※ 1 国内事例はHER-SYSで把握した累計を自治体へ協議した上で計上。
- ※ 2 変異株PCR陽性者数はHER-SYSで把握した累計を計上した速報値であり、自治体公表の数字とは異なる可能性がある。

性別・年代別の変異株（ゲノム解析）確認数

2021/4/13時点

【変異株（ゲノム解析）確認数】

性別 ●0 ●1 ●2 0：未入力、1：男性、2：女性 n=1159



【変異株（ゲノム解析）の死亡者数】

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男	0	0	0	0	0	0	1	4	7	12
女	0	0	0	0	1	0	0	1	3	5
計	0	0	0	0	1	0	1	5	10	17

※自治体においてHER-SYSに入力があったものを集計。変異株の種類が「その他」又は未入力ものを除く。

※死亡者数は、新型コロナウイルス感染症の死亡者数の内数

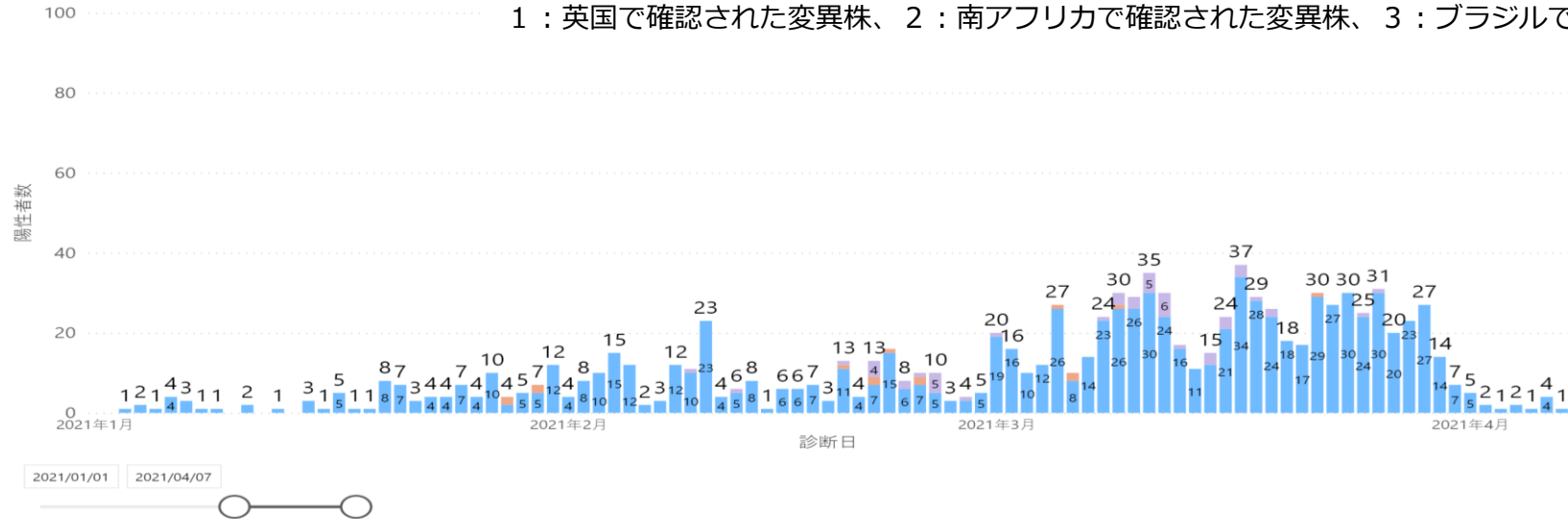
診断日別の変異株（ゲノム解析・変異株PCR検査）確認数

【ゲノム解析結果】

2021/4/13時点

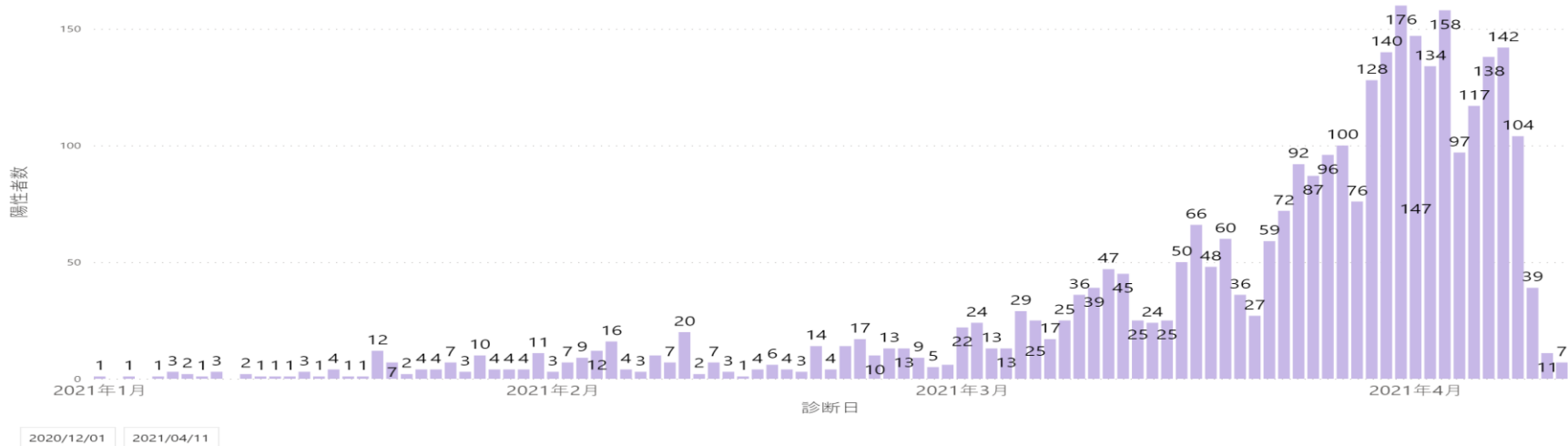
ゲノム解析結果（診断日別） ● 1 ● 2 ● 3

1：英国で確認された変異株、2：南アフリカで確認された変異株、3：ブラジルで確認された変異株



【変異株PCR検査】

変異株PCR陽性者数（診断日別）



※自治体においてHER-SYSに入力がなかったものを集計。変異株の種類が「その他」又は未入力ものを除く

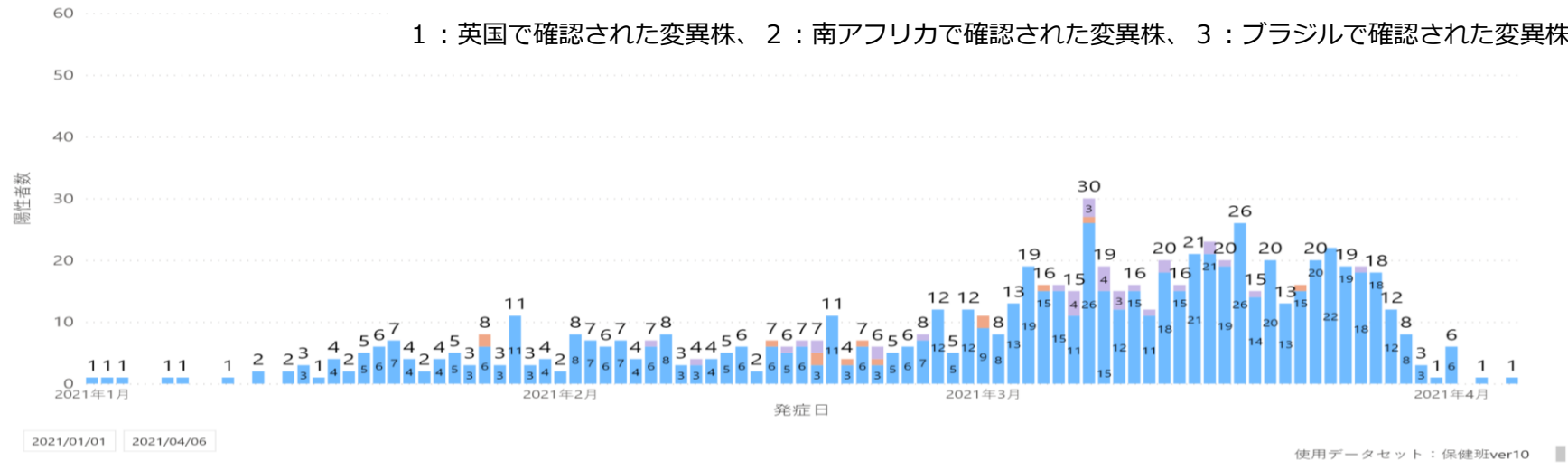
発症日別の変異株（ゲノム解析・変異株PCR検査）確認数

【ゲノム解析結果】

2021/4/13時点

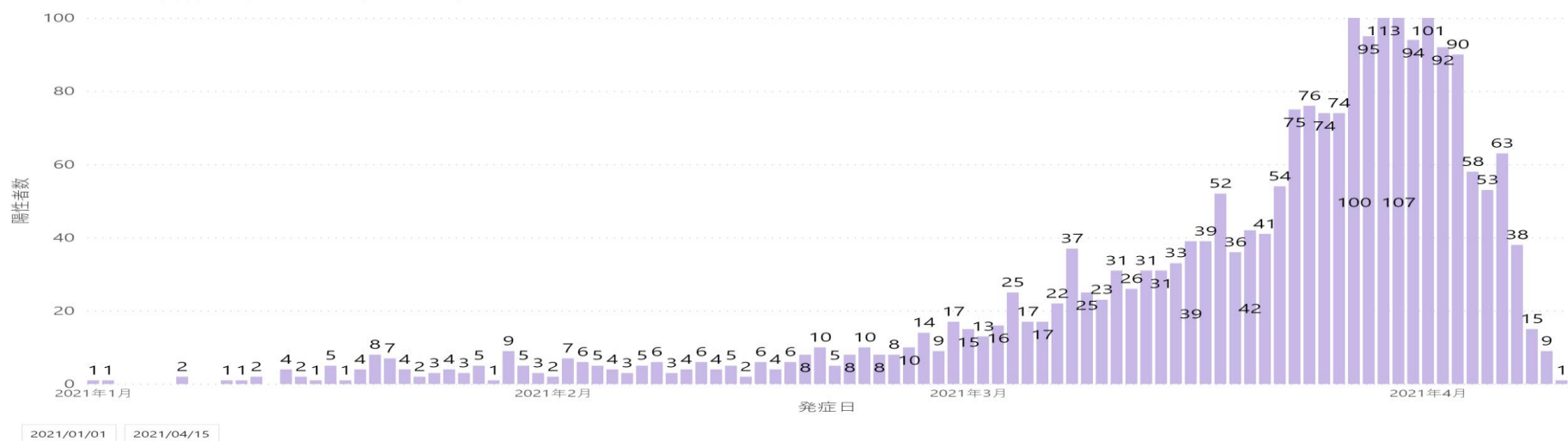
ゲノム解析結果（発症日別） ● 1 ● 2 ● 3

1：英国で確認された変異株、2：南アフリカで確認された変異株、3：ブラジルで確認された変異株



【変異株PCR検査】

変異株PCR陽性者数（発症日別）



※自治体においてHER-SYSに入力があったものを集計。変異株の種類が「その他」又は未入力ものを除く

変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率（機械的な試算）速報値

4/13時点

3/29-4/4	合計（①+②）		①自治体		②民間検査機関		新規陽性者
	実施率	陽性率	検査数	うち陽性者	検査数	うち陽性者	
埼玉県	39%	4%	76	5	292	8	940
千葉県	23%	7%	92	2	74	9	717
東京都	25%	16%	153	54	525	52	2,728
神奈川県	21%	13%	53	10	129	13	863
愛知県	36%	47%	141	71	93	38	656
京都府	22%	60%	57	39	18	6	342
大阪府	24%	67%	414	299	496	314	3,732
兵庫県	34%	77%	359	289	67	37	1,248
全国	34%	36%	3,552	1,496	2,080	535	16,805

	3/1-3/7		3/8-3/14		3/15-3/21		3/22-3/28	
	実施率	陽性率	実施率	陽性率	実施率	陽性率	実施率	陽性率
埼玉県	23%	5%	20%	3%	29%	0%	29%	3%
千葉県	11%	1%	21%	13%	28%	9%	26%	7%
東京都	10%	1%	10%	1%	22%	3%	23%	3%
神奈川県	14%	9%	14%	10%	19%	7%	26%	8%
愛知県	45%	1%	41%	0%	18%	0%	20%	31%
京都府	20%	0%	19%	0%	27%	5%	18%	37%
大阪府	40%	28%	20%	34%	32%	26%	19%	54%
兵庫県	46%	32%	39%	71%	46%	71%	39%	75%
全国	30%	7%	26%	10%	33%	16%	32%	20%

※ 1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※ 2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※ 3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※ 4 民間検査機関の件数は、国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの

変異株スクリーニング検査の実施状況【3/29~4/4】速報値

2021/4/13時点

	都道府県	新規感染者数	変異株PCR検査 実施件数	変異株PCR検査 陽性件数
1	北海道	411	358	142
2	青森県	136	0	0
3	岩手県	96	0	0
4	宮城県	866	120	8
5	秋田県	18	15	6
6	山形県	168	58	0
7	福島県	143	29	0
8	茨城県	225	92	19
9	栃木県	211	121	34
10	群馬県	168	14	0
11	埼玉県	940	76	5
12	千葉県	717	92	2
13	東京都	2,728	153	54
14	神奈川県	863	53	10
15	新潟県	164	93	0
16	富山県	19	11	6
17	石川県	51	31	11
18	福井県	46	33	13
19	山梨県	27	18	4
20	長野県	223	80	2
21	岐阜県	86	66	25
22	静岡県	185	36	2
23	愛知県	656	141	71

	都道府県別	新規感染者数	変異株PCR検査 実施件数	変異株PCR検査 陽性件数
24	三重県	135	35	25
25	滋賀県	113	43	23
26	京都府	342	57	39
27	大阪府	3,732	414	299
28	兵庫県	1,248	359	289
29	奈良県	287	118	58
30	和歌山県	102	100	59
31	鳥取県	65	44	13
32	島根県	2	2	0
33	岡山県	110	65	55
34	広島県	85	43	24
35	山口県	32	33	9
36	徳島県	69	24	22
37	香川県	112	76	42
38	愛媛県	208	46	37
39	高知県	9	15	13
40	福岡県	204	158	20
41	佐賀県	38	22	3
42	長崎県	18	22	13
43	熊本県	24	21	8
44	大分県	17	14	14
45	宮崎県	14	8	0
46	鹿児島県	43	49	12
47	沖縄県	649	94	5
	全国	16,805	3,552	1,496
	民間検査機関		2,080	535

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※4 民間検査機関の件数は、国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの

新型コロナウイルス感染症（変異株）患者等の対応について

（令和2年12月23日事務連絡（4月8日最終改訂））

【退院基準】

- 退院基準は、国立感染症研究所の評価・分析を踏まえ、従来株と同様とする。（4/8改正）
- 宿泊療養等の解除基準も、従来株と同様とする（4/8改正）

⇒ 2回陰性確認の検査を実施せずに退院できる基準を新たに設けた

＜症状がある方＞（人工呼吸器等による治療を行わなかった場合）

以下の①又は②を満たす場合に退院することができます。

- ① 発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合
- ② 発症日から10日間経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後24時間経過した後にPCR検査を行い、陰性が確認され、その検査の検体を採取した24時間以後に再度検体採取を行い、陰性が確認された場合

【個室管理の取扱い】

- 病床がひっ迫(※)している自治体では、変異株の患者は、従来株の患者と同室可（4/8改正で追記）
- 病床がひっ迫しておらず、個室管理が可能な自治体では、再感染の可能性が懸念される南アフリカ株・ブラジル株の患者は、それぞれ個室管理とする（同じ変異株であることが明らかな場合等については同室可）

(※) 確保病床の病床使用率が20%以上

【入院措置】

- 変異株の症例は、その蔓延の防止のため、原則入院措置
 - ⇒ ただし、地域の実情に応じ、医師が入院不要と判断した無症状者や軽症者は、宿泊療養施設で丁寧な健康観察ができる場合に宿泊療養が可能（3/31改正）
 - ⇒ 入院中に宿泊療養への移行（いわゆる「下りの宿泊療養」）も可能（4/8改正で追記）

空港検疫所における新型コロナウイルス感染症（新規変異株）の積極的疫学調査

- 変異株（32症例）と従来株（29症例）のウイルス量を経時的変化を比較したもの。
- その結果、軽症例および無症状例については、新規変異株症例の診断時のウイルスRNAコピー数は診断7日目では従来株の7日目と比較して有意差はみられなかった。また、診断10日以降の検体におけるウイルス分離試験はいずれも陰性であった。
- これらのことから、軽症例および無症状例について、変異株症例の退院基準を現在の従来株の基準より長く設定する根拠は得られなかった。

【変異株と非変異株におけるウイルスRNAコピー数の経時的変化】

